

## 臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院呼吸器・乳腺外科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：肺癌切除症例における予後因子としての Inflammatory Prognostic Index (IPI) の有用性

### 1. 研究の概要

癌の進行に炎症が関与していることは広く知られています。最近その炎症の状態を示す指標として Inflammatory Prognostic Index (IPI) というものが提唱されました。この指標がいくつかの癌腫での有用性が示されていますが、切除可能肺癌についてはまだ報告がありません。今回当院の患者様でこの指標の有用性を検討しようと思います。

### 2. 目的

2008年1月1日～2012年12月31日に本院呼吸器・乳腺外科(旧第二外科)に入院され、肺癌の手術治療を受けられた患者様のデータをもとに、検討いたします。いままで切除可能肺癌症例における有用性を検討した報告はありません。この指標が術後の患者様予後に相関するかどうかを検討することで、今後術前に前もって予後予測ができる可能性があります。なお、本研究は呼吸器外科領域における、新たな知見を得ることを目的とする学術研究活動として実施されるものです。

### 3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から、2018年12月まで行われます。

### 4. 対象者

2008年1月1日～2012年12月31日に本院呼吸器・乳腺外科(旧第二外科)に入院され、肺癌の手術治療を受けられた方が対象となります。

### 5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、術前採血の検査結果、術後の病理所見などを利用して頂き、これらの情報をもとに Inflammatory Prognostic Index (IPI) を算出し、術後予後因子の有用性を検討します。

### 6. 費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

### 7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

### 8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報(どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る)」として使用いたします。

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。なお、本研究の実施責任者と分担研究者は本研究に関わる企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、利益相反<sup>注1)</sup>はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

## 12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

## 13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院外科学 呼吸器・乳腺外科  
准教授 富田雅樹  
電話：0985-85-2291  
FAX：0985-85-5563